

令和8年度

授業シラバス・
年間指導計画

保健体育
(2年)

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科、理数科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教材
保健体育	体育	2	健康・スポーツ個人日誌 (独自作成教材) ステップアップスポーツ 2025 (大修館)

学習のねらい	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> ・2クラス合同で一斉授業と選択授業があります。 ・時間や約束を守って行動してください。 ・グループでコミュニケーションをとり、お互いを承認し、違いを認め合ってください。 ・スポーツを知的に楽しんでください。 ・スポーツを通して試行錯誤しながら、仲間と課題を解決してください。 ・体育の授業で元気になってください。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>自己の能力と運動の特性に応じて課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。</p>	<p>自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動をしようとする。また、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>知識及び技能 教養力</p>	<p>思考力 判断力 協働力 表現力</p>	<p>学びに向かう力 生きる力 公正な態度</p>
主な 評価方法	<p>単元ごとのルールテスト 毎時間の運動スキルチェック 単元ごとのスキルテスト</p>	<p>単元ごとのレポート 期末レポート 発表会、記録会等 単元ごとのルールテスト 毎時間の試合進行等 (行動観察)</p>	<p>出席状況 意欲 (ランニング、補強等) 態度 (安全、準備、グループ等) 毎時間の記録ノート 毎時間の行動観察</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	(1) 体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、目的に適した運動の計画を立てて取り組もうとしている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	体づくり運動に主体的に取り組む、互いに助け合い、教え合おうとし、健康・安全に留意して活動しようとしている。
	(2) 選択制授業 球技 バレーボール(ネット型) ソフトボール(ベースボール型) 卓球(ネット型)	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。
後期	(3) 選択制授業 サッカー(ゴール型) バドミントン(ネット型) テニス(ネット型)	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、互いに助け合い教え合おうとすることができる。
	(4) 陸上競技 長距離走	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を見つけている。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて工夫することができる。	勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切に、自己の責任を果たすことができる。
	(5) 体育理論	スポーツは各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があることを理解している。	生涯にわたってスポーツを継続するために、自分に合った運動を見つけ、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断すると共に、他者に伝えることができる。	生涯にわたってスポーツを継続するために、「する、みる、支える」など様々な関わり方で、学習に主体的に取り組んでいる。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科、理数科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
保健体育	保健	1	現代高等保健体育(大修館) 現代高等保健体育ノート(大修館)

学習のねらい	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス単位での一斉授業です。 ・実生活に活かすことのできる学習内容となっています。 ・年間2回学習した内容を問う考查を実施します。 ・chromebookを活用したレポート提出や、後期は課題解決学習が中心となります。 ・すべての学習内容が生きていく上で重要な事柄です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	健康・安全の意義を理解するとともに「現代社会と健康」及び「安全な社会生活」について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることにより、適切な意思決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
育てたい生徒像(資質・能力)との関連	知識及び技能 教養力	思考力 判断力 表現力	学びに向かう力 生きる力
主な評価方法	考查 小テスト	授業ノート 課題解決学習レポート 考查記述問題 課題解決学習発表	出席状況 グループワーク(行動観察) 発表(相互評価) 授業内プリント等

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>(3) 生涯を通じる健康</p> <p>ライフステージと健康</p> <p>思春期と健康</p> <p>性意識と性行動の選択</p> <p>妊娠・出産と健康</p> <p>避妊法と人工妊娠中絶</p> <p>結婚生活と健康</p> <p>中高年期と健康</p> <p>働くことと健康</p> <p>労働災害と健康</p> <p>健康的な職業生活</p>	<p>生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解する。国民の健康課題について各種の指標や疾病構造の変化を理解している。</p>	<p>生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて、思考・判断・表現できる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>生涯を通じる健康について主体的に考え、意欲的に学習に取り組むことができる。</p>
後期	<p>(4) 健康を支える健康づくり</p> <p>大気汚染と健康</p> <p>水質汚濁、土壌汚染と健康</p> <p>環境汚染と健康にかかわる対策</p> <p>ごみの処理と上下水道の整備</p> <p>食品の安全性</p> <p>食品衛生にかかわる活動</p> <p>保健サービスとその活用</p> <p>医療サービスとその活用</p> <p>医薬品の制度とその活用</p> <p>さまざまな保健活動や社会的対策</p> <p>健康に関する環境づくりと社会参加</p>	<p>人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあり、それらを防ぐには汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解する。</p>	<p>健康の保持増進には、個人の人力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深く関わっている。全ての人々が健康に生きていくためには、環境を整備しそれを活用する上で、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度、及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて、理解を深めるとともに、これらの課題の解決に向けて思考・判断・表現することができる。</p>	<p>健康を支える健康づくりについて探求しようとしている。</p>
備考				